

ホワイトペーパーシリーズ：

NarSuS

接続と情報通知、

情報セキュリティ関連仕様

2014年2月

内容

1.	はじめに.....	3
2.	NarSuS の製品 – データセンター間接続.....	4
3.	NarSuS の登録.....	5
4.	通知の送信動作.....	6
5.	NarSuS データセンター.....	7

本文書は、株式会社アイ・オー・データ機器（以下、「アイ・オー・データ」とします。）が、アイ・オー・データの特定の商品に関する機能・性能や技術についての説明を記述した参考資料となります。当該商品の利用という目的の範囲内で自由に使用、複製をしていただけますが、アイ・オー・データの事前の書面による承諾なしに、改変、掲示、転載等の行為は禁止されます。また、**あくまで参考資料として提供いたしますので、内容については一切保証を致しかねます。**以下の内容をご了承いただいた場合のみご利用ください。

- (1) アイ・オー・データは、本文書によりいかなる権利の移転もしくはライセンスの許諾、またはいかなる保証を与えるものではありません。
- (2) アイ・オー・データは、本文書について、有用性、正確性、特定目的への適合性等のいかなる保証をするものではありません。
- (3) アイ・オー・データは、本文書を利用したこと、または利用しなかったことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。
- (4) アイ・オー・データは、本文書の内容を随時、断りなく更新、修正、変更、削除することがあります。最新の商品情報については、<http://www.iodata.jp/> をご覧ください。

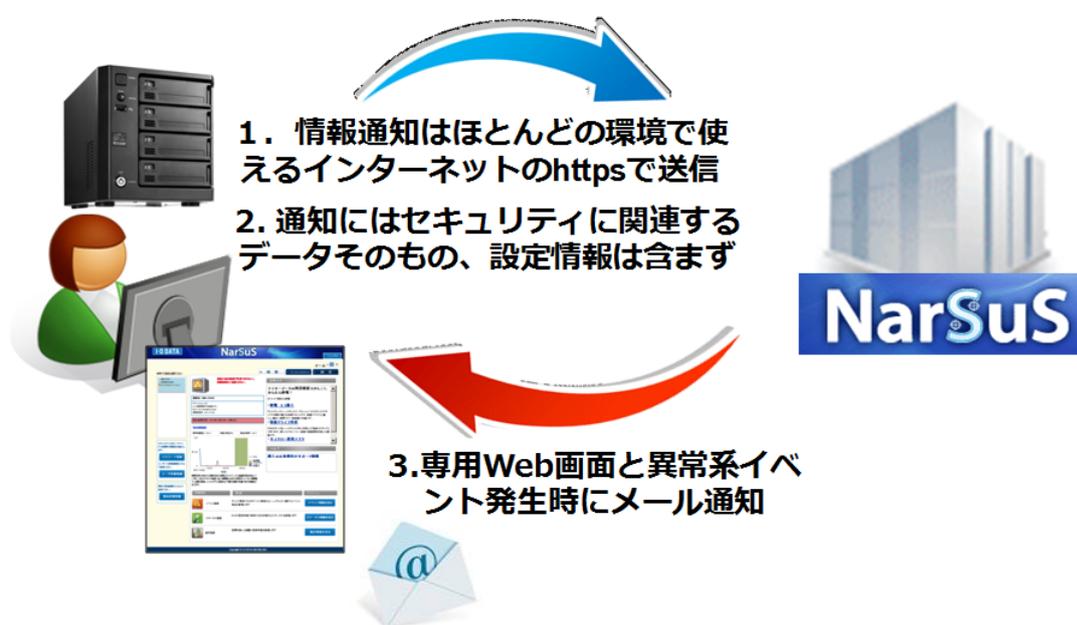
1. はじめに

NarSuS（ナーサス）はインターネットを介したクラウドサービスで弊社対応 NAS（以降 LAN DISK）の稼働状態を把握し、安定運用を支援するサービスです。

その実現には極力幅広いユーザーにご利用いただけるよう、簡便な登録設定、稼働に特別なシステム環境を要求しないこと、情報セキュリティ要件に抵触しない通知内容・方法となるよう配慮しております。

本書では、導入のご検討にお役立ていただけるよう NarSuS の機能概要と共にこれらの内容についてご説明いたします。

【NarSuS の機能概要】



【セキュリティへの配慮】

- NarSuS が収集するのは LAN DISK の稼働情報であり、LAN DISK 内のユーザーデータには一切アクセスいたしません。
- NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されております。
- 通信は LAN DISK からデータセンターへの一方通行であり、データセンターから LAN DISK にはアクセスいたしません。
- データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮を行っております。

【NarSuS が提供する機能】

- イベントログの照会
RAID 構築状態やバックアップ設定などのシステム情報、ハードウェアの異常やスケジュール動作の完了などのイベント情報を表示します。
 - 動作状況をグラフ表示
LAN DISK の温度、FAN の回転数、利用容量、CPU 負荷をグラフで表示します。
 - トラブル時の対処方法を表示
トラブル時には、管理画面に対処法が表示されます。表示に従って操作を進めれば、バックアップの再構築や HDD 交換など、どなたでも LAN DISK の復旧を行うことが可能です。
- 対応 LANDISK および NarSuS 機能の詳細はホームページを御覧ください。

<https://service.iodata.jp/solution/nas/narsus/index.html>

2. NarSuS の製品 – データセンター間接続

NarSuS のデータセンターと接続する際はインターネットの HTTPS(Hypertext Transfer Protocol over Secure Socket Layer)のみを使用し、予め定められた NarSuS データセンターサーバーへ接続します。

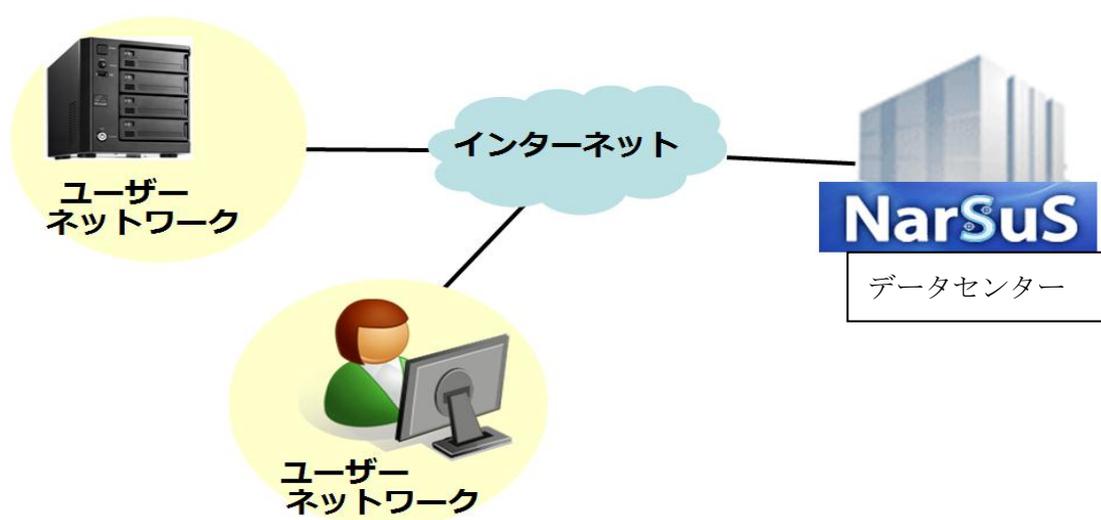
この為、ご利用の際はこれらの接続が可能である必要があります。

ユーザーネットワークがインターネット利用の際にプロキシサーバーを経由する必要がある場合は対象製品の設定及びユーザーページを利用する P C の設定も必要とします。

なお、接続は通知の間のみ行われ、終了するとセッションが切られます。

これら接続は対象製品及びユーザーページにログインする P C などの機器から一方向でのみ行われ、データセンターからユーザーネットワークへの接続は一切ありません。

【NarSuS のネットワーク接続】



【接続に使用する主なパラメータ】

HTTPS で使用するポート	443/tcp
NarSuS 登録の際の U R L	固定（対象製品ファームウェアが保持）
NarSuS 通知の際の U R L	固定（対象製品ファームウェアが保持）
対象製品のプロキシ設定	任意（対象製品の設定内で保持）
NarSuS ユーザーページログイン U R L	固定（登録完了時などで提示）
NarSuS ユーザーページのプロキシ設定	任意（利用 P C の設定内で実施）

3. NarSuS の登録

- LAN DISK（HDL-AH/HDL2-AH/HDL-XV シリーズ/HDL-X シリーズ/HDL6-H）は製品ファームウェアに NarSuS 機能を組み込んでいます。LAN DISK の設定を有効にし、必要事項を登録後に利用開始ができます。
- LAN DISK（HDL-Z シリーズ）は Windows のアプリケーションとして組み込んでいます。LAN DISK 起動の際に自動でプログラムが起動しますので、必要事項を登録後にご利用いただけます。





NarSuS では製品を正確に特定すること、外部からのアタックを排除する為に、登録は製品内の管理画面よりスタートし、正確な製品情報を含んだ通知を受け取ることで完了する仕様になっています。

4. 通知の送信動作

【通知種別】

NarSuS の通知には大きく次の 2 種類があります。

- ・ イベント通知
- ・ 定期通知

イベント通知はイベント発生時にリアルタイムで通知されるもので、機器の稼働状態と内蔵ディスクの S.M.A.R.T.情報で構成されています。

定期通知は日次で製品個体毎に異なる時刻、及び対象製品を再起動した場合に通知されるもので、機器の稼働状態を示す情報が NarSuS サーバーに送付されます。

【異常終了時】

通知が正常終了しない場合の対象製品側の対応は、ネットワークが確立できない場合、及びネットワークが確立できたが通知が正常に受け取られなかった場合はいずれも対象製品のログにエラーとして記録されます。

データセンター側で通知が受け取れない場合は、48時間経過後よりWebのユーザー画面トップの最終通知取得日時の表示欄の背景が赤になると共に、概要説明欄に確認を促すメッセージが表示されます。

また、イベント通知の際、障害の影響などにより正常に情報を取得できない場合、正常に情報が通知されるまではWebにて掲載の値が更新されない旨のメッセージが表示されます。

通知が正常終了しなかった場合、対象製品からはイベント通知は再送されませんが、定期通知は過去10回分までは統計情報を保持し、次回通知の際に併せて送信を試みます。

5. NarSuS データセンター

データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮を行っています。

稼働時間は365日24時間稼働ですが、計画停止があり得ます。その際には事前に登録メールアドレス宛にご案内いたします。また万一、サービス停止が発生した場合はできるだけ速やかに復旧いたしますのでご容赦願います。

※ただし、以上の配慮をもっても無停止を保障するものではありません。